



ミュージカル
小さい「つ」が消えた日

ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズについて

「手のひらを太陽に」「いい湯だな」「ゲゲゲの鬼太郎」など幅広い世代に通じる曲をのこしてきた作曲家の故いずみたく。

彼は、童謡や歌謡曲だけでなく、100本以上のミュージカルを作曲し、制作してきました。そして日本のオリジナルミュージカルをつくるため、1977年にミュージカルを専門に上演する劇団として、わたしたち劇団フォーリーズ（今はミュージカルカンパニー イッツフォーリーズといいます）をつくりました。劇団メンバーは約50名で、大人向けから青少年向けまでたくさんの人がたのしめるミュージカルを日本全国、年間120ステージ以上公演しています。また、劇団員はミュージカル以外にもテレビ、映画、コマーシャルやコンサート、ライブ等、たくさんの活動を行っています。

知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることをしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和3年度
文化芸術による子供育成総合事業
— 巡回公演事業 —

ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ ＜ミュージカル公演＞

ミュージカル 小さい「つ」が消えた日

五十音村を飛び出した小さい「つ」の冒険



文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

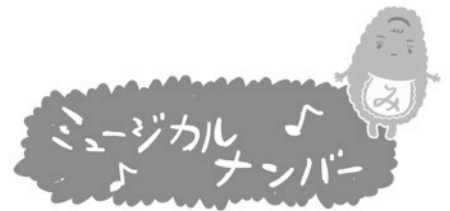
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

ミュージカル 小さい「つ」が消えた日

ものがたり

五十音村を飛び出した小さい「つ」の冒険



文字にもたましいが宿っています。五十音村の住人は今日も元気に仕事をしています。自信家の“あ”さん、笑っぱなしの“は”さん、歌の大好きな“う”さん、頼りがいのある“た”さんに、資産家の“し”さん。それぞれの個性豊かな文字たちが自慢話を始めていると、無口な小さい“つ”の話になりました。音がない小さい“つ”は文字ではない、とみんなにばかにされてしまいました。小さい“つ”は、かなしい気持ちになって、家を飛び出してしまいます。ひとりぼっちになった小さい“つ”が出会ったものは……。

「き・み・が・ひ・つ・よ・う」心が傷ついたとき、そんなメッセージが届いたら……あなたはどうしますか？

ドイツ人作家のステファノ・フォン・ローが日本語で書いた、ひとりひとりの人間にむけた愛の物語。2013年、イツフォーリーズの俳優が企画し、総勢30余の劇団員メンバーで初演。好評を博した「小さい「つ」が消えた日」を出演者5名でリニューアル再演！5人で五十音？！どうなっちゃうの？

- | | | | |
|----|--------------|-----|----------------|
| M1 | 人生を楽しむ秘訣 | M9 | 楽しい冒険 |
| M2 | 文字には魂が宿っている | M10 | どこにいるの |
| M3 | われ文字だけ言葉をつくれ | M11 | 楽しい冒険パートII |
| M4 | 五十音村の仲間たち | M12 | 小さい「つ」への手紙 |
| M5 | いつものパーティ | M13 | きみがひつよう |
| M6 | 孤独 | M14 | おかえり |
| M7 | どこへ向かう | M15 | いつものパーティ・パートII |
| M8 | どうなとんじゃ | M16 | きょうは休みだ温泉だ |
| | | M17 | 人生を楽しむ秘訣・パートII |

スタッフ

原作 ステファノ・フォン・ロー (三修社刊)

脚本・演出 前嶋のの

音楽 大竹創作



ステファノ・フォン・ロー

前嶋のの

キャスト

ミュージカルカンパニー イツフォーリーズ

黒衣・コーラス

 佐川 大輔	 蓮井 佑麻	 ふくま みさと	 すぎお ゆうか	 ふじた ともか	 いしい すみれ	 おのうえ あやな
--	--	--	--	--	---	--

石井 薫
尾ノ上 彩花

振付	三枝宏次	歌唱指導	坂口阿紀
美術	根来美咲 (青年座)	演出助手・振付助手	東城由依 (イツフォーリーズ)
人形美術・製作	鹿島佳子・高橋士門 (木くつ木)	舞台監督	岩戸堅一 (アートシーン)・上田 実
照明	千田 実 (千田オフィス)・森下 泰 (ライトシップ)	宣伝イラスト	合同会社第3PO
音響	返町吉保 (キャンビット)	制作	謙田奈々美
衣裳	天野杏百子	プロデューサー	土屋友紀子

ミュージカル「小さい「つ」が消えた日」の上演にあたり

原作のステファノ・フォン・ローさんは、1976年ドイツ・クローンベルグ生まれ。1987年に来日し、上智大学を卒業した後、イギリス、アメリカ、日本の大学でさらに経済学、哲学、社会学などを学びました。5ヶ国語を堪能に話すステファノさんですが、この作品は、彼が日本語で日本の五十音の文字を登場人物とした物語を書いたものです。音のない小さい“つ”の大切さを笑いと優しさを含めて書かれた物語は、子どもたちだけでなく、大人へのメッセージとして伝わってきます。複雑な競争社会、マスメディアの多様な情報社会で生きている私たちの、生き方、存在意義、人生の価値観を見直すきっかけとなる童話として、ぜひお楽しみください。あなたにとって『おかえり』と言ってくれる人が必ずどこかにいるはずです。

(プロデューサー 土屋友紀子)

「おかえり」 作詞 前嶋のの / 作曲 大竹創作

おかえり おかえり
まっていたよ
おかえり おかえり
ずっと きみのこと

消せないあやまちを 僕ははずっと忘れない
消えることのない痛みを ポケットに
しまっておくんだ

大切なきみがいなくなって さびしかった
とてもつらかった
大切なきみがここにいる それだけで
こんなに嬉しい

おかえり おかえり
まっていたよ
おかえり おかえり
ここがきみの家

